

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 17 日作成)

小委員会名	構工法変遷小委員会		主 査 名：瀧 諭 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)		委員長名：本橋健司 主 査 名：岩澤成吉
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：既往構工法変遷の調査と将来構工法の予測 ・2009 年度：調査方法の検討および最近の技術開発の動向調査 ・2010 年度：文献を主としたよる長期（高度経済成長期あたり以後）の構工法変遷調査 ・2011 年度：ヒアリング等による調査およびまとめ方の検討 ・2012 年度：成果のまとめ		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：瀧諭 (清水建設)，幹事：香月泰樹 (戸田建設)，浜田耕史 (大林組)， 委員：土橋稔美 (鹿島)，岩澤成吉 (長谷工コーポレーション)，後藤礼彦 (竹中工務店)， 岩下智 (鴻池組)，河谷史郎 (東京大学)，三根直人 (Tunku Abdul Rahman 大学)， 佐藤幸博 (フジタ)，武藤正樹 (建築研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	95,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. PCa 工法・ハイブリッド工法を主とする変遷状況のマップおよび年表の作成。 2. 構工法・ハイブリッド構造・最近の施工技術と時代背景に関する調査・分析結果 0 の整理。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 将来の構工法の予測に関する論点の選定や条件の設定が難しく，限られた調査労力資 源での検討が課題。